



# 燃焼-赤外線吸収法分析に使用する鉄鋼標準試料

当社の燃焼-赤外線吸収法分析に使用する標準試料に新商品を追加いたします。

## 新商品の特徴

- 当社の燃焼-赤外線吸収法分析用に使用する標準試料は、これまで細粒状のみでしたが、0.49gピン状、1.0gピン状の標準試料を新しく開発しました。
- ピン状のため分析の際に試料を秤量する手間が軽減できます。
- 鉄鋼の炭素(C)および硫黄(S)を燃焼-赤外線吸収法により分析する場合の装置性能の確認や精確さのチェックに使用できます。
- 『JSM M462-1』は硫黄濃度が0.17%であり、硫黄快削鋼等の高濃度硫黄含有鋼材を分析する際に使用できます。

## 燃焼-赤外線吸収法分析用 鉄鋼標準試料 新商品 (試料No. JSM M461-1、JSM M462-1)

- 試料形状 : 0.49gまたは1.0g、ピン状
- 材質 : 鉄鋼
- 濃度レベル

試料No.	重量(g)	C (%)	S (%)
JSM M461-1	1.0	0.44	0.016
JSM M462-1	0.49	0.30	0.17



鉄鋼標準試料

## ※分析例

試料No.		C (%)	S (%)
JSM M461-1	平均値 (n=10)	0.445	0.0159
	標準偏差	0.003	0.0002
JSM M462-1	平均値 (n=10)	0.297	0.168
	標準偏差	0.000	0.001

## 分析結果の信頼性確保

標準試料には、標準値のトレーサビリティが明確なことが要求されます。

分析方法は、「JIS G1211-3 鉄及び鋼-炭素定量方法-第3部:燃焼-赤外線吸収法」、「JIS G1215-4 鉄及び鋼-硫黄定量方法-第4部:高周波誘導加熱燃焼-赤外線吸収法」を採用し、日本鉄鋼認証標準物質(JSS)を併行分析することでトレーサビリティを確保し、信頼性の高い標準試料の供給に務めています。

このほか、各種の素材や組成の標準試料を広く取り揃えています。お気軽にご相談下さい。



JFE テクノリサーチ 株式会社

<https://www.jfe-tec.co.jp>

0120-643-777

Copyright ©2018 JFE Techno-Research Corporation. All Rights Reserved.  
本資料の無断複製・転載・webサイトへのアップロード等はおやめ下さい。